

おびひろ市議会だより

No. **36**
令和3年
12月定例会号



冬期間に行われている帯広駅前のイルミネーション

提案された令和3年度補正予算の内容（一部抜粋）

灯油代の支援

灯油価格が高騰しているため、灯油を購入した市民税非課税世帯などに5,000円を給付

子育て世帯臨時特別給付金

コロナの影響を受けた子育て世帯を支援するため、児童手当の受給者などに対し、現金10万円を一括給付

3回目のワクチン接種

コロナワクチン3回目接種に向けた体制を整備し接種を実施

修学旅行のキャンセル料の支援

コロナの影響による修学旅行の延期などに伴うキャンセル料などを支援



議案審査特別委員会を設置・審査後、本会議において全会一致で原案のとおり可決

→ 主な議論の内容は4ページに掲載

燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や制度運用変更に関する意見書

— 要約 —

食料の安定供給と農業の持続的発展を図るため、以下の対策を求めるもの。

- 1 燃油や生産資材などの価格高騰対策を講ずること。
- 2 新規就農者育成総合対策に十分な予算を確保し、全額を国費負担とすること。

意見書とは、議会の意思を意見としてまとめたもので、国会や関係省庁などに送っています。



※意見書の全文は市議会ホームページをご覧ください



陳情第6号 帯広市泉町とちか帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定について

趣旨

帯広市泉町西8線（とちか帯広空港滑走路西側林内市有地）にあるアースハンモック（十勝坊主）の市文化財への指定を求めるもの。

付託

経済文教委員会



アースハンモック（十勝坊主）

定例会の概要

コロナ対策関連予算などを審議・可決

令和3年第7回定例会を11月30日から12月16日までの17日間の会期で開催し、令和3年度各会計補正予算、条例の改正などを審議したほか、24人の議員が一般質問を行いました。

国会などへ意見書提出

燃油等の価格高騰対策、国の農業予算や制度運用変更に関する意見書を全会一致で可決し、国会や関係行政庁へ提出し

ました。（左図参照）

陳情1件を議決し、新たに陳情1件を付託

「陳情第5号 帯広市内事業者への時限救済制度立案の際の給付条件について」は、全会一致で採択しました。（6ページ参照）「陳情第6号 帯広市泉町とちか帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定については、経済文教委員会に付託し、閉会中継続審査を行うことに決定しました。

目次

定例会の概要	1
一般質問	2~3
一般質問、議案審査特別委員会の審査概要	4
傍聴、インターネット映像配信	5
常任委員会等の動き、議長コラム、都市行政調査報告など	6

※ 本号では、新型コロナウイルス感染症のことを「コロナ」と略して表記しています。

※距離を取るなどのコロナ対策を実施しながら質疑を行っています。



石橋 勝美 議員 (立憲)



子どもの医療費の助成拡大を！ eスポーツを活用した多世代交流

質 子育て支援策として、乳幼児等医療助成制度の助成拡大の考えは。

答 拡充には継続的な事業実施に必要な安定的な財源確保など課題がある。今後子どもの医療は全国一律の制度となるよう粘り強く国や道に要望していく考え。

提言 コロナ禍で医療費助成額が減少、小学生数も減少傾向である。ばんえいの黒字を一般会計に繰り入れるなど、財源の使途は広がっている。よく検討すべき。

質 高齢者の多世代交流に、eスポーツを活用した取り組みの考えは。

答 eスポーツは認知症予防、フレイル予防を目的に事業に取り入れている自治体がある。効果や課題を調査研究する。



稲葉 典昭 議員 (共産)



コロナ 医療と保健所の体制強化 実態に応じた支援策を

質 帯広・十勝では、8月にコロナの月間新規感染者数が600人と過去最高を記録。十勝一丸となって緊急時に備えられる医療体制の強化を求めるときと考えるが、見解は。

答 地域医療体制を十分に検証した上で、公立病院の適正配置などが必要。

提言 道の3次医療圏の中で十勝圏が唯一、保健所が1カ所しかない。感染拡大に対処するため拡充を求めるとき。

質 市内事業者の実態調査の結果は。

答 現状について「非常に悪い」「悪い」という回答が6割だった。

提言 コロナ禍から市民の暮らしと中小企業者の実態に応じた支援策の実施を。



藤澤 昌隆 議員 (公明)



水道管の老朽化対策について 子宮頸がん(HPV)ワクチンについて

質 上下水道の管路更新率は0・69%と1%にも満たない。市の認識は。

答 直近3カ年の平均は0・97%とおおむね計画どおりすすんでいる。今後も計画的に更新していく。

質 厚労省はHPVワクチンの積極的勧奨に踏み切ったが、今後の周知は。

答 国から示される情報を踏まえ、わかりやすい周知方法などを検討していく。

提言 HPVワクチン接種の流れは変わってきている。積極的勧奨に反対をしてきた共産党も、その姿勢を一転し接種に前向きになった。行政は丁寧な情報発信と、接種機会を逃した対象者のキャッチアップ接種を国に要望すべき。



大竹 武光 議員 (公明)



市長の政治姿勢と4選出馬の考え

質 米沢市政は3期目の後半となり、フードバレーによる経済効果が市民に広く行き渡っているかなど、独自色を出し切れたのか。また、公約達成度など、3期目を顧みたま感想について伺う。

答 これまで、持続的に発展するまちづくりの推進力としての十勝・帯広の結びつきを一層強めながら、地域が持つ資源や魅力を生かしたフードバレーとかちの取組みをすすめてきた。3期目の公約は順調にすすんでおり、残された任期は限られているが、今後も全力で市政運営に取り組んでいく。

質 4選出馬の考えについて伺う。

答 現在熟慮している段階である。



佐々木直美 議員 (立憲)



コロナ禍が示した貧困状況について

質 このたび実施されたコロナ生活支援制度には、延べ約1万7000件の相談があり、申請不要の子育て世帯生活支援特別給付金を加えると約1万件の支給決定となっている。生活に困難を抱える世帯の実態を把握し、今後の施策に反映しなくてはいけないが、市の認識と対応は。

答 経済活動が回復し、安定した雇用が継続されなければ根本的な解決とはならない。生活に困窮する方の不安を解消できるように、丁寧な相談対応に努める。

提言 自治体と、社会活動に取り組む民間との連携強化が、さらに大きな支援と成果につながる。相談体制の工夫と充実を努めるべき。

質 経済活動が回復し、安定した雇用が継続されなければ根本的な解決とはならない。生活に困窮する方の不安を解消できるように、丁寧な相談対応に努める。

提言 自治体と、社会活動に取り組む民間との連携強化が、さらに大きな支援と成果につながる。相談体制の工夫と充実を努めるべき。



小森 唯永 議員 (開政)



旧イトーヨーカドー跡地 再開発事業について

質 本来の簿価が12億円の駐車場を5億円で処分した。7億円の値引き、これは明らかに市民を裏切り、施行者への利益供与である。市長の指示はあったのか。

答 10億円を超える簿価があったことは当然承知をしているが、不動産鑑定士に鑑定をお願いした。

質 再開発における他の地権者の土地を高額評価し多額の補助金が投入され、市の駐車場と公園などが廉価で販売された可能性がある。権利変換計画の従前資産と従後資産の黒塗りを開示すべきでは。

答 情報公開にあたり関係法令に従って開示するものは開示し、開示できないものは、理由を付け対応してきている。



太平 亮介 議員 (共産)



多様な性に配慮した投票環境を 発達性読み書き障害への配慮を

質 LGBTQなどの性的マイノリティの市民の投票権を保障するために多様な性に関する配慮が欠かせない。市の認識は。

答 投票所の多様な性への配慮が必要。

質 投票所でのトランスジェンダーの方の本人確認について、名前を読み上げない方法の検討が必要と考えるが見解は。

答 氏名の読み上げは意図しないアウトテイングにつながる恐れもあるため、他の自治体の手法なども参考に検討していく。

質 発達性読み書き障害の子どもの学力の正確な評価には配慮が必要。方向性は。



林 佳奈子 議員 (市政)



指定管理者制度の課題 危険な通学路の環境整備

質 市の施設を運営するにあたっては、指定管理者制度の拡大が重要であるが、課題も含めた帯広市の今後の考えは。

答 更新時の応募事業者数の減少、指定管理者の利益還元仕組みなどの課題もあると認識している。今後、包括的な検証を行い、施設のあり方を整理する考え。

質 65カ所の通学路の危険箇所について、どのような整備を行っているのか。

答 可能なところから対策してきた。信号機や横断歩道の設置は通学路安全対策連絡協議会の場で要望しているが、警察からは速やかな実現は難しいとの回答。

提言 警察との連携強化や継続した要望を行い、子どもの安全を守るべき。



杉野 智美 議員 (共産)



だれもが性別にかかわらず 自分らしく生きられるまちに

質 女性が育児や介護、家事労働を担う存在とみなされ、自立して力を発揮することができない状況の大本にあるのが「ジェンダー差別」。市のあらゆる事業にジェンダー平等の強化が必要では。

答 だれもが個性や能力を発揮し活躍できる社会の実現を目指すすめていく。

質 防災に女性の声を反映させ住民のくらしを守る防災体制を。現在12%の防災会議の女性委員の割合を高める考えは。

答 女性の視点を組み込むことは重要。他の自治体の事例も研究しながら、女性委員の参加拡大に向け検討したい。

質 防災に女性の声を反映させ住民のくらしを守る防災体制を。現在12%の防災会議の女性委員の割合を高める考えは。



西本 嘉伸 議員 (市政)



災害時の避難所開設判断は適切に！

質 市内農村地区において強風による停電が発生した。なぜ帯広の森体育館を避難所として開設したのか。

答 車での避難が可能と判断し、農村地区に近い帯広の森体育館に開設した。

提言 危機管理にあたっては最大限の情報を収集し適切な判断の下、市民の安全確保を示すべき。現地の状況を知ろうとせず、足を運ぶことなく、情報収集は電力会社のホームページでだけ。机上での判断とはお粗末すぎる。猛省を求めます。

今回の教訓を生かし安定的な電源確保による、拠点となる避難所を農村地区に整備すべきである。明日勃発するかもしれない災害に適切な対応を求める。

農業振興・道路維持整備・森の造成について



横山 明美 議員 (市政)



【質】日本の食料基地として、農業を成長、発展させるための農業振興の考えは。

【答】生産者や関係団体などと連携し、農業を取り巻く環境の変化に的確に対応し、地域農業のさらなる発展につなげる。

【質】現在、整備中の都市計画道路は。

【答】青柳通、学園通、十八条通、弥生通、大和通の5路線で、路線はすべて市道。

【質】森林環境譲与税の使い道と木育に対する考え方について伺う。

【答】私有林の意向調査や間伐支援などに森林環境譲与税を活用。今後は森林環境教育の一つとして木育をすすめ、市民に木材の良さを伝え、森林整備に対する理解促進に努める。



榎山 直義 議員 (立憲)



地域連携で下校時の見守り活動をボランティア活動の充実強化へ

【質】子どもの安全を確保するために「見守り」活動を地域の課題としてお互いの組織間で協力協働体制を構築する広域連携の取組みが必要と考えるが市の認識は。

【答】登下校中の子どもが被害に遭う交通事故や犯罪を減らすためには地域全体で登下校中の子どもの見守り活動を行うことが効果的である一方、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、活動への参加者不足が懸念されている。学校・家庭・地域の連携を深めていくほか、ボランティア・コーディネート者を養成することで、ボランティア同士の連携やボランティアの裾野を拡大し、町内会などと連携し、活動の幅を広げていくことが重要である。

災害に強い自治体づくり コロナ第6波に備えて



鬼塚 英喜 議員 (市政)



【質】自衛隊第5旅団災害対処訓練でSIP4Dの説明があった。市の利活用の認識と考えは。また、災害関係機関である帯広駐屯地体制維持充実促進期成会の帯広市として継続した運動の考えは。

【答】SIP4Dは、多くの機関が情報共有することにより速やかな災害対応につながるため、積極的に利用する考え。期成会の活動はないが、市として関係団体と連携し要望活動に向けて調整を図る。

【質】3回目のワクチン接種開始は、2回目接種後、8月か6月のどちらか。

【答】国では原則8月からの前倒しを表明しており、市としても様々な事態を想定し3回目接種の前倒しを検討中。



椎名 成 議員 (公明)



不登校児童生徒の対応・認知症SOSネットワークについて

【質】令和2年度の不登校児童・生徒で特別支援学級に通っていた子どもの割合は。

【答】特別支援学級に在籍していた不登校児童・生徒の割合は、およそ2割程度。

【質】「学校適応指導教室ひろびろ」の暗く狭いトイレの環境整備の考えは。

【答】具体的な環境整備などについては、十分に配慮しながら検討していく。

【質】認知症の行方不明者への対策強化は。

【答】リスクがある人を事前登録し、身近な顔の見える範囲の協力者で見守り体制をつくる手法や、行方不明者が発生した際の認知症サポーターなどによる個人情報報が含まれない情報の配信について、今年度中の実施を目指して検討をしている。

高齢者の交通安全対策と通学路の合同点検での危険箇所への要望



今野 祐子 議員 (公明)



【質】65歳以上の高齢運転者が過去3カ年に市内で起こした交通事故件数と、事故防止に向けた取組みおよび過去3カ年の65歳以上の免許返納者数を伺う。

【答】交通事故件数は平成30年88件、令和元年77件、令和2年82件で高齢者が25.3%。事故防止の取組みとして交通指導員が老人クラブなどでの交通安全教室のほか、交通安全研修会を実施。65歳以上の免許返納者数は平成30年402人、令和元年584人、令和2年485人。

【質】通学路の危険箇所65カ所への学校からの要望内容について伺う。

【答】信号機や横断歩道の設置のほか、樹木剪定などとなっている。



木幡 裕之 議員 (市政)



第六期障害福祉計画、西陵北地区、安心・安全なまちづくり

【質】第六期障害福祉計画の考え方は。

【答】第五期計画では、地域生活支援拠点の整備が未達成となり、引き続き第六期計画の重点項目へ位置付けたほか、障害のある人を地域全体で支える体制づくりをすすめ、すべての人が生涯安心して暮らせる地域社会の実現に取り組む。

【質】西陵北地区の混雑緩和に向けた市の考えを伺う。

【答】栄通の4車線化や弥生新道の混雑緩和に向け、交通需要も踏まえて検討。

【質】愛玩動物との同行避難の周知について今後の考えを伺う。

【答】広報おびひろや防災出前講座など様々な機会を活用し、周知していく。

選択的夫婦別姓制度



大和田三朗 議員 (市政)



【質】選択的夫婦別姓制度について、市の認識、スタンスを伺う。

【答】夫婦の氏については、民法で規定されており、そのあり方については国民的な理解の下、国において検討が行われているものと認識しており、帯広市としても、国などの動向を注視していく。

【提言】夫婦同姓制度は普通の日本人にとって極めて自然な制度であり、もし別姓が導入されて別姓世代が数代にわたって続けば、家系は確実に混乱し、日本の良き伝統である戸籍制度、家族制度が形骸化し、祖先や家族、親と子を結ぶ連帯意識や地域の一体感、ひいては日本の倫理道徳観にまで影響を与えると考える。



石井 宏治 議員 (市政)



人口減少への対応 帯広市の住宅政策

【質】将来の帯広市の人口減少への対応として、住宅政策は重要な課題である。今年、戸建て住宅を建てたくとも土地が無い反面、賃貸住宅戸数は増加傾向であり、それに伴い空き家や空き室が増加しているが、現状を伺う。

【答】平成25年から平成30年の推移で空き室は4980戸から7090戸に増加している。

【提言】今後、市内各所で民間賃貸住宅の空き室が発生すると想定されるため、利便性の良い場所に立地している民間賃貸住宅について、公営住宅的な取扱いをすることで既存ストックの活用につながり、住居者にとって住みやすい環境ができる。

地域防災計画への位置づけと高層建築物の居住者の安全・安心について



大塚 徹 議員 (市政)



【質】災害時において高層住宅で何が起こるのか、どのような備えが必要なのか、中高層の市営住宅で生活する上での心構えを説明し、災害に対する備えを共同住宅居住者に促す必要があるのではないか。

【答】市営住宅での防災について、中高層という視点も含め、市営住宅版防災ガイドのような形として整理を行っているところ。年度内をめどに全戸配布ができるよう、早急に準備をすすめていく。

【提言】帯広も都市化して、中高層ビルが多く危惧をしている。市営住宅でこのような取組みを行うとのことだが、さらに民間中高層共同住宅住民にもこのようなガイドを作り、配布すべき。



鈴木 正孝 議員 (無所属)



安心して暮らせるまちづくり・西19条北工業団地の企業誘致の展望

【質】通学路の指定基準について伺う。

【答】交通安全や防犯上の安全性などを勘案し、保護者や警察、道路管理者などの関係者と協議のうえ、設定している。

【質】交通安全の授業の学年別の違いは。

【答】新小学1年生には、屋外を歩行しての指導など、発達段階に応じて指導。

【質】工業団地の造成による地元経済への影響など、企業誘致の基本的な考えは。

【答】農畜産物などを生かした製造業をはじめ、商業やサービス業などが集積し、地域経済に大きく貢献。企業立地を促し、新たな雇用の創出や地域産業の振興につなげる。今後も、企業の需要を的確に捉え、地域産業基盤の強化につなげる。

学校教育における学びの保障 スポーツの振興・帯広の森について



質 9月の一般質問で、教職員のワークチン接種率を確認したが、あれから接種率は向上したのか伺う。

答 おおよそ9割程度の教職員が接種を済ませているものと把握している。

質 スポーツ推進委員の活動により地域にどのような成果、効果があるか伺う。

答 顔の見える関係の中で、地域のニーズに即した身近なスポーツ機会の提供につながっている。

質 帯広の森の今日的な価値について市はどのように評価しているのか伺う。

答 まちづくりにおけるシンボリックな存在として、市民の誇りになっているものと考えている。



新生児の聴覚検査に公費助成を

質 新生児の聴覚検査に対する国の考え方に基づき、今後帯広市は公費助成についてどう考えていくのか。

答 ここ二、三年で公費負担する自治体が大きく増えた状況に加え、国は、難聴児の早期発見、療育推進のための基本方針案を示し、都道府県で具体的な支援計画の策定を求めている。こうした動きから、改めて検査の重要性を認識している。帯広市においては、今後実情を踏まえた上で、考え方を整理していきたい。

提言 道内でほとんど多くの自治体を取り組んでいることを、帯広市だけが取り組まないというわけにはいかない。考え方を整理してもらいたい。

米沢のりひさ市長3期12年間の成果



質 小中学校の耐震化の推進、おでかけサポートバス事業の開始、消防の広域化や、新総合体育館建設など、着実に変化を生みだし、安全安心なまちづくり・地域振興につなげてきた。大事にしてきた「政治理念」と成果をお聞きする。

答 就任以来、「全ての市民の幸せ」をまちづくりの座標軸として市政を執行してきた。農業を基盤とした産業振興、創業・起業・人材育成、子育て・教育環境や医療体制の整備などに取り組み、圏域の一体感が醸成され、比較的堅調に人口が推移するなど、地域の発展基盤が徐々に厚みを増し、存在感の高まり、将来の期待感にもつながっていると感じる。



職員などの旅費が定額支給から実費支給に！

質 宿泊料には朝食代と夕食代が含まれるが、宿泊施設で食事が提供されない場合、どのような扱いになるのか。

答 提供されない場合、素泊まり代の実費支給とは別に、朝食・夕食代として特別職にはそれぞれ1100円、2200円が、一般職にはそれぞれ900円と1700円が別途支給される。

提言 職員には規則で定め、手引で周知することのだが、本来であれば議会の承認が必要な条例で規定すべき。

質 運用ルールが恣意的に変えられることはないかと考えてよろしいか。

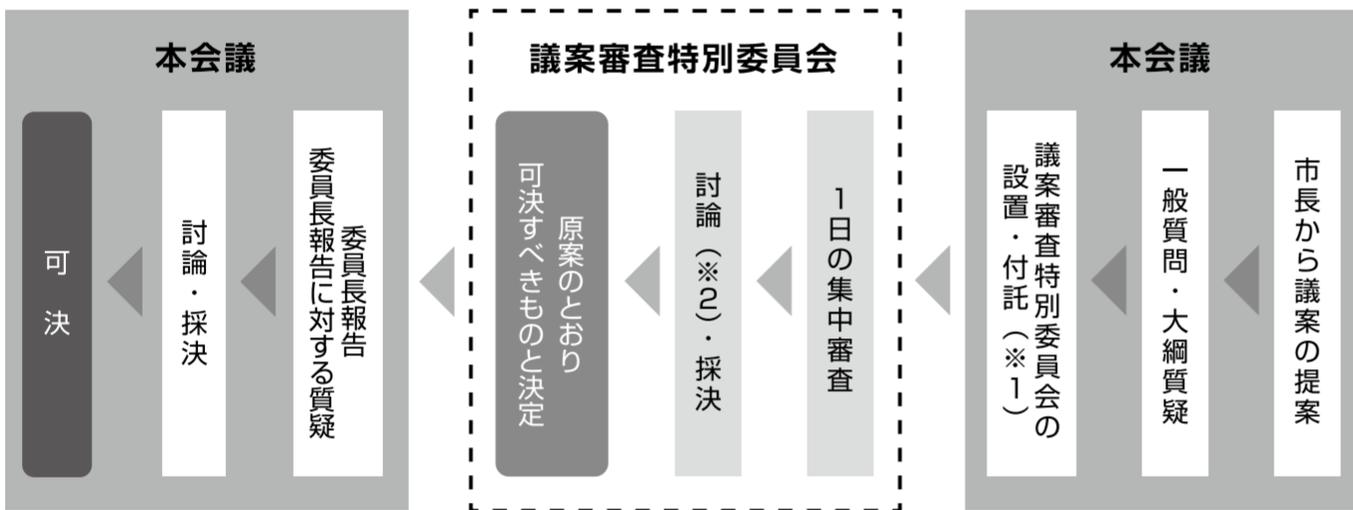
答 他市の事例などを参考に合理性を持ったもので、今後も適切な運用が基本。

令和3年度補正予算などに対する主な議論

【議案審査特別委員会】

市長から提案されたコロナ対策をはじめとする補正予算などの議案は、議案審査特別委員会での集中的な審査を経て、本会議において全会一致で可決しました。ここでは、委員会における主な議論の概要をお伝えします

【審査の流れ】



灯油代支援給付金

灯油価格高騰に伴い、灯油を購入した対象世帯に対し現金5000円を支給することだが、ガスや電気など、灯油以外の暖房機器を使用している対象世帯もいる。灯油に限らず、支給対象範囲を拡大するとともに、申請書を年内に発送するなど、迅速な支給に努めるべき。



飲食店入居ビルなどの感染症対策

飲食店が入居しているビルなどの所有者・管理者が共用部分における換気設備の更新や抗菌加工などの感染症対策を行う際の必要経費を補助することであるが、多くの施設で感染症対策が徹底されるよう、補助制度の周知に努めるべき。

新型コロナウイルスワクチン接種

これまでの教訓を踏まえ、3回目の接種に向けたワクチンの供給状況や安全性など、市民の不安を解消できるように積極的な情報発信を行うとともに、安全を第一に考え、適切な事務処理に努めるべき。



子育て世帯臨時特別給付金

高校生以下の子どもがいる一定所得以下の世帯に対し、1人あたり5万円を先行給付することだが、クーポンに要する経費や市民の声を踏まえ適切に対応すべき。

10万円全額を現金で給付する旨の答弁があり、最終日に議案第112号で残りの5万円の給付が提案され可決しました。



追加議案

議案第112号子育て世帯臨時特別給付金

本会議での討論

原案に賛成

榎山 直義議員（立憲）

18歳以下の子育て世帯臨時特別給付金について、帯広市が10万円を速やかに給付することとしたこの議案に賛成する。ただし、政府が独自財源で対象外の人にも支給する市町村を容認したことは問題。自治体それぞれに財政事情が違ふことから支給できる市町村に限られる。帯広市は所得制限を設けての給付であるが、市民への丁寧な説明と、所得制限を撤廃して全員へ国の責任で給付を行うよう政府に強く働きかけてほしい。

※1 付託 → 本会議での議決の前に、議案等の検討を詳しく行うため、委員会に審査を委託すること。

※2 討論 → 採決の前に、賛成か反対か自分の意見を述べる。意見の異なる相手を自分の意見に同調させるために行う。

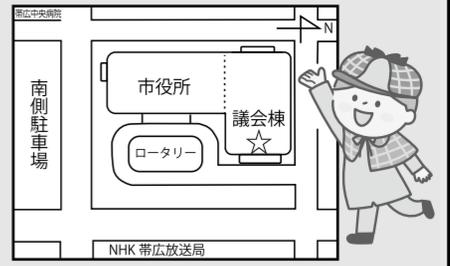
議会トピックス

市議会に

**来てみよう！
見てみよう！**



議会という言葉は知っていても、実際に議会を見たことがある人は少ないと思います。今回は、議会を見る方法や各種サービスについてお知らせします。



● 直接、来て見たい方

本会議を見る



【議場で傍聴】

会議の時間に合わせて、直接4階の傍聴席へお越しください。



4F フロア図



議会には、本会議と委員会があるんだね。

委員会は、議場じゃなくて、特別委員会室なんだね。

委員会を見る

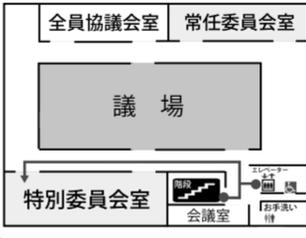
コロナの感染拡大以降、ソーシャルディスタンスを確保するため、「総務・厚生・経済文教・建設」の4つの常任委員会も特別委員会室で行っています。

【特別委員会室で傍聴】

会議の時間に合わせて、直接3階へお越しください。



3F フロア図



多くの人に本会議を見てもらうために、いろんなサービスがあるんだね。

本会議での各種サービス

申込先：議会事務局 TEL65-4221

【手話通訳者の派遣】

手話通訳者を派遣し、会議を見ることができます。
※5日前までの申し込みが必要です。

【幼児の一時預かり】

1歳から小学校入学前までのお子さんを保育士などがお預かりします。
※3日前までの申し込みが必要です。

【携帯型補聴器誘導システム】 (磁気ループ)

- Q 携帯型補聴器誘導システムって？
A マイクの音を直接補聴器に伝え、雑音の少ない明瞭な音声を聴くことのできる装置です。専用の補聴器も無料で貸出できます。
※7日前までの申し込みが必要です。

小さい子どもがいても預けて傍聴できるね。



● 自宅や外出先で見たい方

【インターネット映像配信（生放映）】

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から生放映をご覧いただけます。

「生放映を見る」をクリックすれば見られるんだね。



● 過去の議会の内容を見たい・知りたい方

【インターネット映像配信（録画放映）】

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から録画放映をご覧いただけます。
録画放映では、次の検索が可能です。
会議名（本会議・委員会）
議員名・会派名（本会議の一般質問・討論を対象）
用語（会議名・議員名・会派名・質問項目を対象）
なお、録画放映は開催日から1～2週間程度でご覧いただけるようになります。



生放映は見られなくても、録画放映があるから好きな時に見ることができるんだね。

【会議録検索システム】

パソコン、スマートフォン、タブレット端末から平成13年以降の本会議、常任委員会、特別委員会の会議録をご覧いただけます。
会議録検索システムでは、次の検索が可能です。
対象年／キーワード
発言者／会議内容／会議種類
なお、会議録は、開催日から2～3カ月程度でご覧いただけるようになります。



会議録は、文字で見られて、気になるキーワードでの検索機能もあるんだね。

総務

重点調査項目
地方創生及び広域行政／効果的・効率的な行政運営／地域防災

理事者報告
「1月」帯広市まちづくり基本条例適合状況等

厚生

重点調査項目
保健予防・医療／子育て支援／高齢者・障害者福祉及び介護保険／市民協働及び男女共同参画

理事者報告
「1月」多様な性に関する今後の進め方

経済文教

重点調査項目
農林業及び畜産業の振興／地元企業の活性化及び観光振興／学校教育／文化及びスポーツの振興

理事者報告
「1月」「帯広市岩内自然の村」の利活用に係る民間提案型調査の実施状況

質問通告
「1月」成人の集いの運営／若年層に関する消費者問題／児童会館の施設整備／ばんえい競馬の競走馬における感染症対策

付託案件
「令和3年陳情第6号」帯広市泉町とかち帯広空港敷地内アースハンモック（十勝坊主）の市文化財指定

建設

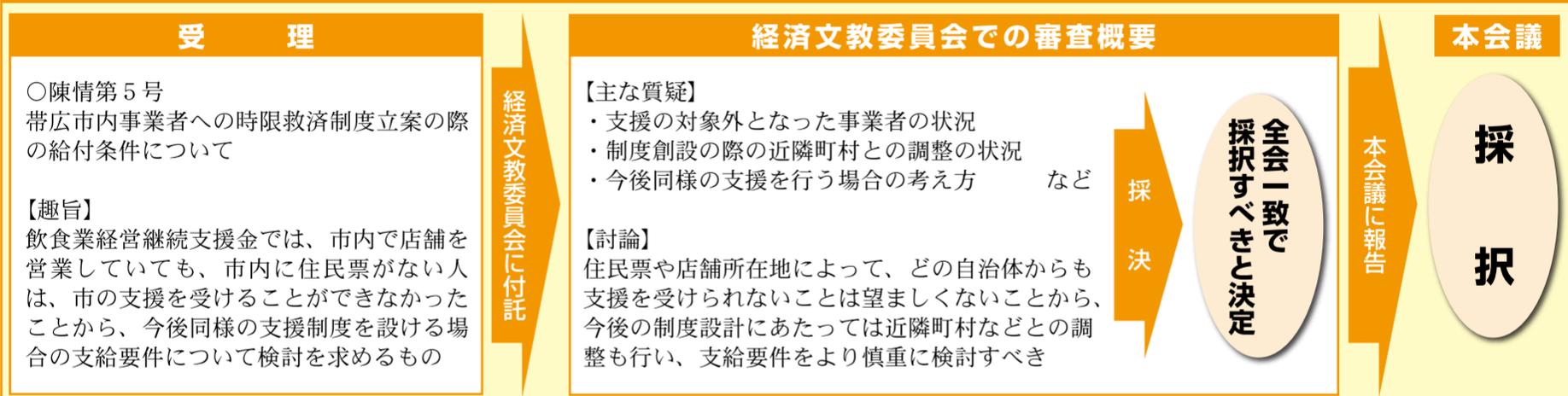
重点調査項目
都市計画及び地域公共交通／住まい／道路・橋りょう／みどりと環境保全／上・下水道の維持管理

理事者報告
「1月」ペットボトル「おびひろ極上水」事業の見直し

議会運営

協議事項
令和3年第7回定例会の運営／令和4年第1回臨時会の運営／議会運営検討項目

陳情の審議結果（受理から採決までの流れ）



議会トピックス 議会運営委員会が都市行政調査

調査日	調査先	調査事項
12月21日	茨城県取手市	・議会におけるICT化の取組みについて
12月22日	栃木県日光市	・特色ある議会活動について

【大塚 徹 委員長 所感】

後期議会運営委員会では政府の自治体デジタル化推進政策もあり、議会のペーパーレス化も念頭に議会のICT化の検討をしており、その一環として取手市、日光市へ視察に伺いました。

取手市は、昨年度議会改革度調査全国No.1に輝いており、現・前議長らが直接質疑応答していただき感激しました。議長の「習うより慣れろが大事」との言葉どおり半年後には全員紙資料をなくし、タブレット化したという実行力には驚かされました。

一方、日光市はタブレットを導入したものの未だ数人の議員には紙資料を並行で配付しており、完全タブレット化には踏み切れていないとのことで、議会ICT化の難しさも考えさせられました。今後、次期改選後のタブレット導入をめどに調査研究してまいります。



議長コラム 有城 正憲 議長



令和3年6月7日 市長へ要望書を提出

昨年はコロナ禍が続く中、多くの議員が活動を通じて市のコロナ対応をただしてきたほか、ワクチン接種に関して市長に提言なども行ったところです。

また、12月14日の議案審査特別委員会では、子育て世帯臨時特別給付金の一括現金10万円支給が、道内市の中ではいち早く表明されるなど、市民の声を市政に届けてきたと考えています。

本年も議員一丸となって、議会としての役割を果たしていきます。

～令和4年3月定例会 開催予定日のお知らせ～

開催日時	会議内容
1日（初日） 13時～	本会議
2日 10時～	議案審査特別委員会
7日～11日、※7日は予備日 10時～	一般質問
14日～18日、22日 10時～	予算審査特別委員会
24日（最終日） 13時～	本会議

- 議会は傍聴できますが、マスクの着用など、感染症対策にご協力ください。（感染症の発生状況によっては、別室モニターでご覧いただく場合があります）
- 咳などの症状がある方は、傍聴をお控えください。
- 議会の様子は、生放映と録画放映を行っておりますので、市議会ホームページからご覧ください。



※日程は現時点での予定であり、変更することがあります。

編集後記

コロナの感染が拡大して2年が経過しました。出口の見えない中で、市民の皆さまには様々な苦勞があったことと思いますが、外出の自粛など、感染拡大防止のための行動に敬意を表します。また、コロナ禍の中で従事されているエッセンシャルワーカーの皆さま、本当にありがとうございます。12月定例会においても、引き続き市議会議員として、地域の皆さまのため、全力でまい進してまいります。

（編集委員 椎名 成）